

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 評価用マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム市崎の村	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市南区市崎一丁目182~185、194	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、防火地域なし(建築基準法22条地域)	平均居住人員	特養100床+保育90名 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校、病院、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 竣工	評価の実施日	2020年10月1日
敷地面積	3,260 m <sup>2</sup>	作成者	佐藤崇文
建築面積	1,778 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月12日
延床面積	5,440 m <sup>2</sup>	確認者	森 治郎



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

標準計算

① 参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み 84% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の 84% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④ 上記+ 84% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 計画地の北側及び東側には集合住宅があるため、日影に配慮した建物配置計画としました。また、4階建てであるが、4階部分は南側に集約することで北側への日影に配慮しました。	<b>その他</b> 直接光に対する日射抑制に配慮し、個室周囲には全てバルコニー(又は庇)を設置しています。
<b>Q1 室内環境</b> 特別養護老人ホームの特性上、日中は共同生活室(リビング的な部屋)にすることが多いため、天井高さをH2.5mとし、ゆとりある広さを確保し、また外気取り入れや外部環境が見える窓配置としました。	<b>Q2 サービス性能</b> 入居者の個室は約15m <sup>2</sup> (最低基準は10.65m <sup>2</sup> )とし、また使い易い部屋形状としました。また全個室内にWCを設置。施設内はすべて段差がなく、車椅子での移動に適した施設としています。床材は主に塩ビシートのノンワックスタイプ
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱は内断熱とし、熱橋部分も含め断熱を行っています。居室には開口部を設置し、自然通風を可能としています。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 使用建築材料はすべて4☆を使用しています
	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 道路に面する北側及び南側には多種多様な植栽を配置。特に施設の入り口となる南側には、様々な植栽を配置することで、周辺に対して緑ある空間を提供しています。4階建ての建物であるが、外観デザインを分節化することで周囲へ
	<b>LR3 敷地外環境</b> 設備の室外機は集約し、周囲に囲いを設け、防音対策としています。厨房排気については、最上階に排気ファンを設置し、1階の厨房から直接排気しない計画としています。一部保育の園庭がありますが、砂塵対策として芝張りの園庭としています

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される